

おかやまの未来を考えるシンポジウム

～インフラを守り、賢く使う地域活性化～



道路や橋、ダム、港などのインフラは私たちの暮らしや経済を支えています。

例えば、人・物の流れに大きな変化をもたらした瀬戸大橋、国際物流拠点の役割を担う水島港などは岡山の地域活性化に大きく貢献してきました。また最近では、ダムや道路、港湾などのインフラが地域の観光や交流の拠点の場を生み出している事例も見られます。このようにインフラの価値を様々な角度から最大限に引き出し、生活の豊かさや地域経済の活性化に結びつけていく視点が求められています。

一方、我が国のインフラの多くが高度経済成長期に造られ、老朽化の進行が指摘されています。岡山地方の貴重なインフラ資産についても例外ではありません。インフラをどのように守り、使っていくのか。本シンポジウムを通じ、インフラ資産の価値を見直し、おかやまの活性化とその先にある未来と一緒に考えませんか。

日時

平成30年2月22日(木)

13:30～16:15(開場13:00)

会場

山陽新聞社さん太ホール

岡山市北区柳町2-1-1

定員(先着順)

250名

参加無料

プログラム

開会挨拶 ▶ 川崎 茂信 ● 国土交通省中国地方整備局長

来賓挨拶 ▶ 大森 雅夫氏 ● 岡山市長

国からの情報提供 ▶ 『インフラを取り巻く状況とインフラメンテナンス革命』

鈴木 学 ● 国土交通省総合政策局事業総括調整官

特別講演 ▶ 『岡山藩郡代 津田永忠の近世土木遺産に学ぶ』

小嶋 光信氏 ● 両備グループ 代表 兼 CEO

パネルディスカッション ▶ 『インフラを守り、賢く使う地域活性化』

(パネリスト)

(コーディネーター)



小嶋 光信氏
● 両備グループ
代表 兼 CEO



若林 昭吾氏
● 三好野本店
代表取締役社長



森田 恵子氏
● おかやま
アナウンス・ラボ
代表取締役



吉田 敏晴
● 国土交通省
中国地方整備局
企画部長



岡山 一郎
● 山陽新聞社
編集委員室長

■主催 / 山陽新聞社・国土交通省 ■共催 / インフラメンテナンス国民会議

■後援 / 岡山県、岡山市、(一社)岡山県建設業協会、(一社)建設コンサルタンツ協会中国支部、岡山県商工会議所連合会、岡山県経営者協会、(一社)岡山経済同友会、岡山県中小企業団体中央会、岡山県商工会連合会、(一社)中国建設弘済会、共同通信社、全国地方新聞社連合会

※(一社)建設コンサルタンツ協会の継続教育(CPD)認定プログラム(単位2.33) ※(一社)全国土木施工管理技士会連合会の継続教育(CPDS)認定プログラム(3unit)

プログラム

※プログラム内容は変更になる場合がございます。

13:00	開場
13:30	開会挨拶 川崎 茂信 氏●国土交通省中国地方整備局長
13:35	来賓挨拶 大森 雅夫 氏●岡山市長
13:40	国からの情報提供 『インフラを取り巻く状況とインフラメンテナンス革命』 鈴木 学 氏●国土交通省総合政策局事業総括調整官
13:50	特別講演 『岡山藩郡代 津田永忠の近世土木遺産に学ぶ』 小嶋 光信 氏●両備グループ 代表 兼 CEO
14:30	休憩
14:45	パネルディスカッション 『インフラを守り、賢く使う地域活性化』 (パネリスト) 小嶋 光信 氏●両備グループ 代表 兼 CEO 若林 昭吾 氏●三好野本店代表取締役社長 森田 恵子 氏●おかやまアナウンス・ラボ代表取締役 吉田 敏晴 氏●国土交通省中国地方整備局企画部長 (コーディネーター) 岡山 一郎 氏●山陽新聞社編集委員室長
16:15	閉会

参加申し込み方法

参加ご希望の方は、氏名、郵便番号、住所、電話番号、性別、職業をご記入のうえ、ハガキ、FAX、Eメールにてお申し込み下さい。併せて、「インフラを守り、賢く使う地域活性化」について、ご意見・ご質問がございましたらご記載ください。いただきましたご意見・ご質問は本シンポジウム内で活用させていただく予定です。

※CPD受講証明またはCPDS受講証明を希望される方はその旨と会社名をご記入ください。

※応募者には山陽新聞社より「聴講券」をお送りいたします。当日受付にて、「聴講券」をご提示のうえ、ご入場いただけます。

※応募者の個人情報、当シンポジウムの運営にのみ使用します。

宛先	「おかやまの未来を考えるシンポジウム」事務局 (山陽新聞社広告本部内)
ハガキ	〒700-8634 山陽新聞社広告本部
FAX	086-803-8113
Eメール	infra@sanyonews.jp

会場アクセス



JR岡山駅から徒歩約15分

JR岡山駅から路線バスで約5分、山陽新聞社前停留所下車

※駐車場はございませんので、近隣の有料駐車場をご利用ください。

事務局お問い合わせ先

「おかやまの未来を考えるシンポジウム」事務局
(山陽新聞社広告本部内)

TEL:086-803-8013 ※平日10時~17時

応募締切 ■平成30年2月9日(金) 必着

※先着250名に聴講券を送ります。

FAX用参加申込書

「おかやまの未来を考えるシンポジウム」事務局

氏名 <small>ふりがな</small>	性別	電話番号
住所 〒	男・女	() -
職業		
下記受講証明が必要な方は、○印をお付けください		受講証明書が必要な方は、会社名も併せて記載ください
CPD受講証明	CPDS受講証明	会社名:

氏名 <small>ふりがな</small>	性別	電話番号
住所 〒	男・女	() -
職業		
下記受講証明が必要な方は、○印をお付けください		受講証明書が必要な方は、会社名も併せて記載ください
CPD受講証明	CPDS受講証明	会社名:

ご意見記入欄

「インフラを守り、賢く使う地域活性化」について、ご意見・ご質問などをご記入ください。いただきましたご意見・ご質問は本シンポジウム内で活用させていただく予定です。

(例) 瀬戸大橋が今年で開通30周年を迎えるが、未来へ引き継いでいくための取組を教えてください。

苦田ダムなど県内でもインフラツーリズムが活発な施設があるが、どのような取組の工夫を行っているのか。

FAX:086-803-8113

(24時間受付)